

自分の強みを活かせる仕事を求めて ～肩書はライフ・アーティスト～

ライフ・アーティスト **阿佐田 有紀さん** (法学部 1998年度卒業生)



現在の生活

ライフ・アーティスト (表現研究家) として、音楽活動 (作詞・作曲・作詞提供・ボーカル)、司会、実演販売士、プライベート&ビジネスコーチをしています。

基本的に仕事は断らず、いただいた順に引き受けています。司会の仕事などは、本番一発勝負ですべてが決まるので、その瞬間に自分の持っている実力がベストで発揮できるように日頃の行動から心がけています。毎日の習慣や、日常どう過ごしているか、精神状態、ものの考え方、食生活などが積み重なってエネルギーとなるような気がしているからです。また、言葉がパートナーなので、ずっと仲良くいられるようモチベーションが下がるような言葉は発しないように心がけています。かといって、ポジティブ思考とか、頑張ってます!! というのもない。基本はニュートラルな状態で、笑顔が多い生活をしています。



今の職業に就いた理由・きっかけ

「話す」仕事を始めたのは、友人のすすめで、好奇心でやってみたら周りの評判がよかったからです。MCや司会は、もともと得意ではなかったのですが、ライブのときに「一番お客さんと仲良くなれるのがMCの時間」ということに気が付いて、人前で「話す力」を現実的に活かしたいと、実演販売士の仕事にも挑戦してみました。そのうち話すことを極めるためには、まったく

真逆の「聴く」というスキルも必要不可欠なのでは?ということを発見して、傾聴やコーチングのスキルを学びました。すると、「今まで蓄積してきたスキルや、得意な分野、自分の強みを活かして、これからの毎日を過ごしていきたい」と強く思うようになりました。そこで、「ライフ・アーティスト」という肩書を勝手につけて、「私はこんなことが得意で、こんなことができる人間です」ということを出会う人たちにアピールしたところ、「ああ、ちょうどそういうのが得意な人を探していたんだよね」と受け入れていただき、次第に仕事の幅が広がって今の自分があるという状態です。

仕事の魅力

「必要とされなければ見向きもされない」というのをダイレクトに感じる仕事だと思います。そんなとき、いつも自分に問い掛けることは、「今、この自分だからできることはなんだろう?」です。何かを表現するときは、どんなに着飾っても、かっこいい言葉を発したとしても、それを発している人の裸の部分、素の部分というものを、受け取る人は感じています。そういった部分を含めて共感したり、応援したりしてくれる人とつながれることがこの仕事の一番の魅力だと感じています。また友人や人間関係にも言えることですが、いま私を応援してくださっている方や、つながっている方が5年後10年後も自分を応援してくれるとは限らない。きっと今の現状に満足して安定を求めて変化を楽しめない自分になってしまうと、その関係を続けていくことは難し

いのかな?と感じます。そういう緊張感があるところもこの仕事の魅力のひとつです。

今後の夢・目標

ライフ・アーティストの仲間をたくさん増やしたり、次世代につないでいくこと。具体的には、すぐできそうな目標として、母校の学生さんとお茶会セッションをしてみたいです。

在学生へのメッセージ

(阿佐田有紀からのハッピー・クエスチョン)

10年後の自分が、いまの自分に何かメッセージを送っているとしたら、それはどんなメッセージでしょうか。

Profile

■ あさだ ゆき

[ライフ・アーティスト (表現研究家)]

- ・ 所沢中央高校出身。
- ・ 2009年 タケカワユキヒデプロデュースTHE登電門コンテストで自身の作詞・作曲・歌唱で本選出場を果たし、さいたまスーパーアリーナでの一般&審査員のライブ投票で2位を獲得。
- ・ 毎年行われる国営武蔵丘陵森林公園のイルミネーションイベント「紅葉見ナイト」に、4年連続のゲスト出演。
- ・ 全国発売の自身のオリジナルCD「一圓」の他、アーティストに作詞提供も行い、現在もライブ活動中。その他、司会・実演販売・各種セミナーなど声とスキルを活かした活動をし、ライフ&ビジネスコーチとしても活躍している。
- ・ チャームポイントは、声・笑顔・ユーモア&ニュートラル思考。

■ CONTACTはこちら→blancia@mail.goo.ne.jp

■ facebook 阿佐田有紀 (Asada yuki)

